

## 14 火災による死傷者

【関連章第5章】

### 事例2 「たばこの火種が落下したことで出火し、死者が発生した火災」

出火時分 3月 17時ごろ

用途等 住宅 防火造2/0 延170㎡

被害状況 建物部分焼1棟 2階13㎡ 傷者2人 死者1人

#### 概要

この火災は、住宅の居室内から出火したものです。

出火原因は、居住者がソファに座って喫煙した際に、周囲にあった布団等の繊維物上にたばこの火種が落下したことで着火し出火したものです。

近隣住人が自宅で調理中に、何かが燃える臭いがしたため、窓を開けたところ向かいの住宅の2階部分から炎が出ているのを発見したため119番通報しています。

なお、近隣住民4名で初期消火を試みるも、2名が負傷し、身の危険を感じたため断念しています。

居住者は2階居室から消防隊により救助されましたが、現場で死亡が確認されました。

#### 教訓等

この火災のように、火種が落下したことに気づかずに就寝したり、外出すると、そのあとに火災となる危険性があります。たばこの火種は可燃物等に接触しても、すぐには火災とはならず、長時間無炎燃焼を継続するケースが多く、その際に発生する煙や一酸化炭素を吸い込むことにより、身体が奪われ避難や初期消火ができなくなる恐れがあります。喫煙するときは、灰皿の近くや決められた場所で吸うなどして、火種を布団や畳などの可燃物に落下させないように十分に注意しましょう。

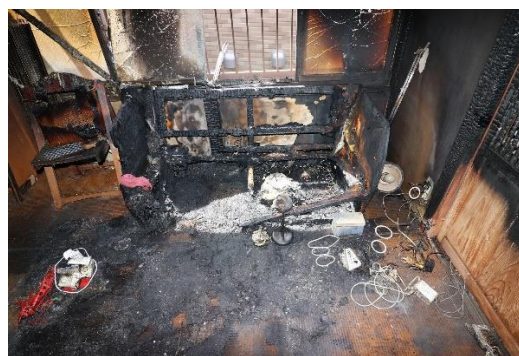


写真 14-3 居室内の焼損状況



写真 14-4 ソファ前の灰皿



写真 14-5 座布団の焼損状況